

# 金融座談会

田中 修

## はじめに

李克強総理は6月20日、建設銀行・人民銀行を視察し、座談会を主催した。

建設銀行では、実体経済支援、営業税の増値税への転換実施、大衆による起業・万人によるイノベーションへのサービス等の状況について詳細に説明を受け、人民銀行では貨幣政策司において、金融政策手段の運用成果と当面の市場流動性の状況について、責任者から説明を受けた。座談会では、金融機関の責任者と当面の重大問題について深く検討を進め、人民銀行の主要責任者が報告を行った。一連の行事には、馬凱副総理・楊晶国務委員・周小川人民銀行行長も参加した。

本稿では、座談会における李克強総理の発言の概要を紹介する。

国際金融市場の変動がかなり大きく、不確定・不安定要因が増大する複雑な情勢に対して、ここ1年、国内金融分野の改革を不断に推進し、銀行業は健全な運営を維持し、資本市場のリスクの隠れた弊害は徐々に有効に解消され、総体として平穏な運営を実現し、人民元レートは合理的な均衡水準において基本的安定を維持し、経済の安定的発展を有効に支えてきた。

しかし、現在世界経済の成長は力を欠き、国内の一部の地域・産業の発展はかなり大きな困難に直面していることをも見て取らねばならない。引き続き穏健な金融政策の方向を堅持し、積極的財政政策との協調的組合せを強化し、柔軟性・的確性を増強し、事前調整・微調整を重視し、マネー・貸出の合理的な伸びを維持しなければならない。差別化した金融政策をしっかりと実施し、構造改革とりわけサプライサイド構造改革を支援し、重点分野と脆弱部分への支援を推進し、堅塁攻略・困難克服の中で経済がグレードアップ・発展を実現することを促進しなければならない。

実体経済に金融が奉仕するには、

- ①「三農」への金融支援を増やし、とりわけ大局に立脚して、夏季穀物の収穫・備蓄への金融サービスをしっかりと行い、農産品の高度な加工を支援することにより、農民・消費者の利益をさらに好く保護しなければならない。
- ②企業とりわけ小型・零細企業と民営経済の資金調達難・資金調達コスト高の問題解決を大いに推進し、企業の資金調達プロセスにおける保証・評価等の方面での料金徴収を減らし規範化しなければならない。商業銀行を誘導し、多くの措置を併用して小型・零細企業と民営経済の「短期・小額・頻繁・至急」の資金調達需要を満足させ、民間投資に助力し、信用が良好で市場を有する企業への貸し渋り・貸出圧縮・貸しはがしを防止す

る。

- ③ニューエコノミーの発展、新たな動力エネルギーの育成を積極的に支援し、金融機関を奨励して、大衆による起業・万人によるイノベーションに適合し、実体経済の発展を推進する金融商品を開発しなければならない。「インターネット+」、現代物流、省エネ・環境保護、スマート製造等の分野の発展へのサービスの方式・手段を刷新しなければならない。現代サービス業、戦略的新興産業、伝統産業の改造・グレードアップへの金融支援を強化しなければならない。

金融資源の配分効率を高め、金融リスクを防止するカギは、改革の深化にある。

金融分野における行政の簡素化・権限の開放、開放と管理の結合、サービスの最適化を深く推進し、民営銀行・消費者金融会社等の中小金融機関を秩序立てて発展させ、金融サービスの主体を豊富にしなければならない。

多くのルートで株式による資金調達を推進し、様々な資本市場のボード移転のメカニズム確立を模索し、中小企業にサービスする地域的な株式市場を発展させ、債券市場の健全な発展を促進し、直接金融のウエイトを高める。

トップダウン設計をしっかりと行い、市場化・法治化の方式を運用し、総合的な措置を採用して非金融企業のレバレッジ率を徐々に引き下げる。

各種金融市場の制度建設を強化し、金融機関の内部コントロールとコンプライアンス管理を強化する。

新たな情勢・新たな要求に基づき、金融監督管理体制を改革・整備する。関係部門は、職分を守ることに責任をもち、とりわけ市場をまたがり、業種をまたがり、機関をまたがって交差する感染リスクへのモニタリング、識別・事前警告を強化しなければならない。クロスボーダー資本の異常な流動に高度に注意を払い、インターネット金融のリスク特別対策を推進し、違法な資金調達・違法な金融活動に有効に歯止めをかけ、先見的なコントロールと応急的な管理をしっかりと行い、システミック・地域的な金融リスクを発生させない最低ラインを断固として守らなければならない。

(6月28日記)